

## 第1学年 生活科学習指導案

指導者 今田 佳代子 (T1)

IT アドバイザー 伊藤 順子 (T2)

### 1 単元名 『もうすぐ2年生』

(令和6年度版『新版たのしいせいかつ』上 大日本図書)

### 2 単元について

#### (1) 単元観

##### ①単元の設定について

本単元は、学習指導要領における以下の内容を基に設定した。

(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

(9) 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

本単元は、2年生への進級に向けて4月からの小学校生活を振り返ったり、新1年生のために自分たちのできることを考え実行したりする活動を通して、自分の成長を感じ、進級への意欲を高めることをめあてとした単元である。そのために交流している地域の幼稚園児に向けた学校紹介絵本作り、本校入学予定の新1年生へのプレゼントとして学校のオリジナルキャラクターの「テガニキーホルダー」を作る活動を設定した。学校紹介絵本を渡した後の幼稚園の様子や入学説明会の様子を写真等で知り、活動の成果を実感するとともに2年生への進級の意欲を高めていく。なお、絵本制作は国語科、「テガニキーホルダー」制作は算数科及び図工科と関連させて進めていく。

本単元では3Dプリンタを活用する。3Dプリンタは、複雑な形を正確に表現することができるためプラモデルの部品や建築物のミニチュア等を製作する時に活用される。3D-CADソフト(立体を製図するアプリケーションソフト)と併用して使用することにより設計の変更が容易で、実物を作る前の試作品を作る時に多く用いられる。本単元では、低学年でも簡単に操作することが可能な教育用3D-CADソフトの『作ってみよう!』を活用する。手のひらサイズの細かい作業がタブレット上でできること、やり直しが可能なこと、算数科「かたちあそび」の学習と関連させやすいことの3点が本活動に適していると考え、本単元で活用することとした。

②系統性について

本単元と幼稚園教育要領, 保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と, 3年生以上の教科との関わりは以下の図のとおりである。

本単元では, 生活科を主軸に他教科と関連付けて学習を進めていく。

学習時期・単元		学習内容								
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (抜粋)		(1) 健康な心と体	(2) 自立心	(3) 共同性	(4) 道徳性・規範意識の芽生え	(5) 社会生活との関わり	(6) 思考力の芽生え	(8) 数量や図形, 標識や文字などへの関心・感覚	(9) 言葉による伝え合い	(10) 豊かな感性と表現
本単元の主な活動	計画を立てる	活動の計画を理解する。								
	「テガニキーホルダー」を作る	「テガニキーホルダー」を作る方法を考える。				「テガニ」を知っている形に分解する。				粘土で「テガニ」を作る。 「テガニキーホルダー」に色を塗る。
	学校紹介絵本を作る	作成の手順を理解する。	園児の気持ちになって, 内容を考える。				絵本を書く。	インタビューをする。 わかりやすい言葉を使って絵本の文を書く。	絵本の絵を描く。	
	振り返りをする	活動を振り返り, 自分の成長に気付く。						経験したことを文と絵で表現する。		
3年生以上に関連する主な教科		全教科						国語 算数	国語科	図画工作科
総合的な学習の時間										

(2) 児童の実態

本学級は11名(男子7名女子4名)で, 学習には前向きに取り組む子どもたちである。少人数ではあるが興味関心や経験, 習熟度の差は大きく, 個別に配慮をしながら活動を進めてきた。

本年度, 本校では3D-CADソフトの『作ってみよう!』及び3Dプリンタを試験的に導入した。1年生では2学期に簡単なキーホルダー作りや「ふゆとなかよし」の単元でオリジナルコマ作り, 「もんだい」機能を活用して『作ってみよう!』の操作方法について学んできた。

本単元の活動に関する学習として、2学期に算数「かたちあそび」図工「うきうきボックス(空き箱工作)」「いろんなどもだち、はなしだす(粘土)」3学期に図工「はことはこをくみあわせて(空き箱工作)」を学習している。箱を6つの面として捉える、積み上げたりつなげたりする、粘土でパーツをつけたり分解したりする活動を通して、立体図形を扱う体験を重ねてきた。また、生活科と国語科を軸に、農作業体験や幼稚園交流会の準備を通して外部の人に向けて自分の思いを伝える活動を行っている。

### (3) 指導観

#### 研究仮説

課題と手段を結びつけられるような工夫をすれば、児童はよりよい考えを生み出すだろう。

#### <具体的な手立て>

・したい「活動の流れを理解し、計画通りに活動することができる。」

1年生の前半は発達段階を考慮し、毎日の授業の中で児童の「~したい」という思いを元に学習を進めてきた。2学期の後半になると「連絡帳、くばっておいたよ」「月の始めには全校朝会があるね」など、1日や1週間、1カ月の予定を意識し活動する児童が見られるようになった。そこで本単元では、単元の計画を児童と一緒に立てることで見通しを立て、活動の流れや課題を意識して学習を進めていきたい。そのためには、取り組んでいることを都度確認できるように学習の流れを掲示し、時には活動計画の修正も視野に入れて、児童が主体的に活動できるように支援していく。

・選ぶ「問題を解決するための手段を知り、実行する。」

本単元において児童が目指すゴールは「『テガニキーホルダー』を作ること」「手賀東小学校の紹介絵本を作ること」の2つである。このゴールに向かうため、児童自身が選択をする場を設定する。

#### <予想される選択場面>

「『テガニキーホルダー』を作る」→・模型を粘土で作るか、箱で作るか

・模型を3Dプリンタでプリントするために、どんなパーツに分けたらよいか

「手賀東小学校の紹介絵本を作る」→・学校の何を紹介するか

・どこ、誰を取材対象にするか

・集めた情報から何を、どう伝えるか

・成長「自分の活動や友だちとの関わりを通し、今後の活動に生かすことができる。」

本単元は、既習事項を生かして問題解決をしていくことで、4月の自分と比べてできる事が増えたことを知り進級の意識と自信を持つことが目標である。活動を振り返る時には、プレゼントした相手の反応を見ながら1年前の自分を思い出し、1年間の成長を実感できるようにしていきたい。

<情報活用能力>

知識及び技能(の基礎)	思考力・判断力・表現力等(の基礎)	学びに向かう力・人間性等
ステップⅠ	ステップⅠ	ステップⅠ
画像編集・ペイント系アプリケーションの操作(発揮) 身近なところから様々な情報を収集する方法(習得) 情報を組み合わせて表現する方法(習得)	身近なところから様々な情報を収集する方法(習得) 簡単な絵や図,表やグラフ用いた情報の整理の方法(習得) 情報の大体を捉え,分解整理し,自分で方法を決めて表現する(発揮) 相手を意識し,わかりやすく表現する(発揮)	事象と関係する情報を見つけようとする(習得) 情報を複数の視点からとらえようとする(習得) 問題解決における情報の大切さを意識して行動する(習得)

3 単元の目標

<生活科>

(1) 生活科

1年間の学校生活を振り返る活動や,新1年生に送るプレゼント作りの活動を通して,自分が成長したところを見つけることができ,できるようになったことや役割が増えたことが分かり,自分に自信をもって進級を楽しみにしようとする。

(2) 教科横断的な視点に立った目標

- ・大事なことをおとさないように,相手の話を聞き,メモをとる。【国語 知識・技能】
- ・目的に応じ必要な事柄を集めたり確かめたりして,伝えたいことを明確にし,自分の思いや考えが明確になるように,構成を考え,語と語や文と文との続き方に注意しながら,内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。【国語 思考・判断・表現力等】
- ・粘土で作った「テガニキーホルダー」を分解し,既習の形に分類する。【算数 思考・判断・表現力等】
- ・形を分解したり図形を分類したりしたことの価値に気づき,他教科の活動に生かそうとする。【算数 学びに向かう力・人間性等】
- ・粘土をつぶしたり,伸ばしたり,ちぎったり,ひねり出したり,くっつけたりしながら,自分の思う形に成型しようとする。【図画工作 知識・技能】
- ・箱や3D プリンタで印刷された図形の組み合わせや,つけ方を工夫しようとする。【図画工作 知識・技能】

(3) 共通目標

目的に応じて既習事項を活用し,問題を解決しようとする。【共通 学びに向かう力・人間性等】

#### 4 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活科	<p>①1年間でできるようになったことが増え、成長した自分に気付いている。</p> <p>②友達の頑張りやクラス、学校によさに気付いている。</p> <p>③1年生を迎える準備を通し、もうすぐお兄さん、お姉さんになることに気付いている。</p>	<p>①自分自身を振り返り、過去と現在の自分を比較して考えている。</p> <p>②友達の頑張ったことやクラス、学校によさを考え、表現している。</p> <p>③新しい1年生のことを考え、活動したり、準備をしたりしている。</p>	<p>①1年間を振り返り、進級する喜びを感じている。</p> <p>②新しい1年生を、期待をもって迎えようとしている。</p>
国語	<p>④大事なことをおとさないように、相手の話を聞き、メモをとる。</p>	<p>④必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にし、自分の思いや考えが明確になるように、構成を考え、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。</p>	
算数			<p>③形を分解したり図形を分類したりことの価値に気づき、他教科の活動に生かそうとしている。</p>
図画工作	<p>⑤粘土をつぶしたり、伸ばしたり、ちぎったり、ひねり出したり、くっつけたりしながら、自分の思う形に成型しようとする。</p> <p>⑥箱の組み合わせやつけ方を工夫しようとする。</p>		

5 指導と評価の計画(全14時間 生活科3時間 国語7時間 算数2時間 図工2時間)

※ 〇は情報活用の資質能力

学習過程		学習活動	教科				評価基準	評価方法	
			生活	国語	算数	図工			
第1次	課題設定	1時	4月からの1年間の行事や活動を思い出し、「できるようになったこと」を使って新しい1年生にしてあげられることを設定するし、計画を立てる。(育成)	○				主①	ワークシート
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">しん1年生のために、じぶんたちができることをかんがえよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「3Dプリンタでプレゼントを作りたい」「学校のことを伝えたい」などの思いを持つ。</li> <li>・「テガニキーホルダー」と「てがひがしえほん」を作る計画を立てる。</li> </ul>						
第2次	情報の収集① 整理・分析①	2時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「テガニキーホルダー」をつくろう</div> <p>「テガニ」の絵を見て形を捉え、粘土や空き箱等表現する。(発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「テガニ」の形をよく観察する。</li> <li>・材料は自分で選択する。</li> <li>・粘土や空き箱で「テガニ」の模型を作る。</li> </ul>				○	知⑤ 又は 知⑥	観察作品
		3時	<p>前時に作った「テガニ」の模型を各部位に分解し、それぞれどの図形にあてはまるか整理し、『作ってみよう!』で部位ごとに<u>パーツ</u>を設計する。(発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「体は箱の形」「はさみはピザの残りみたい」など、児童の分かる言葉で表現する。</li> <li>・表現した言葉を手がかりに『作ってみよう!』でパーツを設計する。</li> </ul>			○		主③	観察ワークシート  データ

	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・表現①</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">振り返り・改善①</div>	4時 5時	<p>プリントされたパーツをイメージに合うように組み合わせたり、色を塗ったりして、<u>テガニ</u>を表現する。(発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足りないパーツがないか確認する。</li> <li>・パーツをグルーガンでつける。</li> <li>・目をかいたり色を塗ったりする。</li> <li>・プレゼントができるものか確認する。</li> </ul>				○	知⑥	作品 ワーク シート		
		課外	入学説明会で「テガニキーホルダー」を渡す。								
第 3 次	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報の収集②</div>	6時	「てがひがしえほん」をつくろう								
			<p>1 年間の手賀東小学校で<u>経験したこと</u>、<u>感じたこと</u>などから「てがひがしえほん」の<u>構成</u>や<u>役割分担</u>を決める。(習得)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生の紹介をしたい」「行事の紹介をしたい」などの意見を出す。</li> <li>・インタビューする人や取材する場所を考える。</li> <li>・担当を決める。</li> </ul>	○	○			知② 思②	ワーク シート 観察		
		7時 8時	<p>校内を取材し、<u>情報を集める</u>。(習得)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生にインタビューをする。</li> <li>・校内の写真を撮る。</li> </ul>		○			知④	ワーク シート 観察		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">整理・分析②</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・表現②</div>	9時 10時	<p>取材で集めた情報について、<u>必要な事柄</u>で<u>あるか</u>を確かめる。(習得)</p> <p><u>順序</u>に気をつけて伝えたいことを<u>文と絵や写真</u>で表現する。(発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことをメモに書く。</li> <li>・文の構成を考える。</li> <li>・絵を描いたり写真を選んだりする。</li> </ul>		○		○	思③ 思④	ワーク シート		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">振り返り・改善②</div>	11時	<p>下書きを友だちと読み合い、<u>思ったことを</u>伝え合う。(習得)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いところやアドバイスを伝え合う。</li> <li>・改善点を整理する。</li> </ul>		○			思③ 知②	観察		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ・表現②-2</div>	12時 13時	<p>幼稚園年長児に手賀東小学校の生活や<u>良いところが</u>伝わるように、<u>文や紙面の構成</u>を工夫しながら、絵本の清書をかく。(発揮)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善点を反映する。</li> <li>・文は iPad で活字にして貼る。</li> </ul>		○		○	思③ 思④	ワーク シート			
		課外	絵本を幼稚園に届ける。 読んでいる様子が分かる写真を提供してもらおう。								

第 4 次	振り返り・改善③	14時	入学説明会の体験や幼稚園年長児の写真を 見ながら、 <u>自分自身の成長を振り返る。</u> (発揮) ・頑張ったことや気付いたこと、思ったこと を絵や文でワークシートに書く。	○				知① 知③ 思① 主②	ワーク シート
-------------	----------	-----	--	---	--	--	--	----------------------	------------

生活科以外の単元

国語科 「はじめて した 学校のこと」「おもい出の アルバム」  
(令和6年度版『ひろがる言葉 小学国語』1年 教育出版)

算数科 「かたちあそび(発展学習)」「令和6年度版『新編 新しい算数』1年 東京書籍)

図画工作 「はことはこをくみあわせて(発展学習)」「すきなもののいろいろあるね(発展学習)」  
(令和6年度版『小学校図画工作1・2年上 わくわくするね』開隆堂出版)

6 本時の指導

(1) 本時 (3/14)

① 本時のめあて

・「かたちあそび」の学習を生かし、「テガニキーホルダー」のパーツを考えることができる。

【算数 主体的に学びに向かう力】

・前時に作った「テガニ」の模型を各部位に分解し、それぞれどの図形にあてはまるか整理し、『作ってみよう!』で部位ごとにパーツを設計する。【情報活用能力(発揮)】

② 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問 ・予想される児童の反応	○指導と支援 ◇評価(観点)<方法>	資料
見出す	10	1. 本時の見通しを確認する。 ・前時は粘土や箱で「テガニ」を作った。 ・どうしたら『作ってみよう!』で作れるかな。 ・パーツに分解しよう。	○児童の作品を例にして、前時の活動を思い出させる。 ○『作ってみよう!』でコマ作りや「もんだい」の解き方を例示し、パーツを作ればよいことに気付かせる。	・前時のワークシート  ・スクリーン『作ってみよう!』の画面
		「テガニキーホルダー」のパーツを作ろう		
自分で取り組む	15	2. 「テガニキーホルダー」のパーツを考える。 ・粘土の「テガニキーホルダー」を体、足に切って分解する。 ・箱の「テガニキーホルダー」はどんなパーツを組み合わせたか確認する。 ・ワークシートにパーツと形の名前、個数を書く。	○体、足、目、はさみに分解させる。 ○それぞれのパーツを単純な形にしたらどれがいいかを問いかける。 ○積み木で形の名前を確認する。 ○全体での共有はせず、終わった児童から次の活動に移行させる。 ○作業が進まない児童には、積み木と比べさせるなどして、どの形になるか考えさせる。 ◇前時に作った「テガニ」の模型を各部位に分解し、それぞれどの図形にあてはまるか整理することができる。(情報活用能力) <観察・ワークシート>	・ワークシート ・自分の「テガニキーホルダー」 (粘土・箱)
		<p>例 からだ…はこのかたち[※はこ] (直方体) 1 個 あし …つつのかたち[※まる] (円柱) 10本 目 …つつのかたち[※まる] (円柱) 2 個 はさみ…ピザののこり[※おうぎがた] 大1個 小1個 ※『作ってみよう!』の名称</p>		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">広げ深める</p>	<p>15</p>	<p>3. 『作ってみよう!』で設計する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを基にパーツを設計する。</li> <li>・全てのパーツができあがったら、保存し、クラスルームで転送する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時で終わる必要はない。</li> <li>○「相談エリア」、「一人エリア」を選んで取り組む。</li> <li>○注意事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作る範囲の半分で作る。</li> <li>・パーツとパーツは離す。</li> </ul> </li> <li>○パーツの配置の仕方をイメージさせるため、作業が進んでいる児童の画面をスクリーンに映し、共有する。</li> <li>○作業が進まない児童の支援をする。(T2)</li> <li>◇『作ってみよう!』で部位ごとにパーツを設計している。(情報活用能力) &lt;観察・データ&gt;</li> <li>◇「かたちあそび」の学習を生かし、「テガニキーホルダー」のパーツを考えることができる。(算数・主体的に学習に取り組む態度) &lt;観察・ワークシート・データ&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPad</li> <li>『作ってみよう!』</li> <li>・スクリーン</li> <li>『作ってみよう!の』画面</li> <li>・スクリーン</li> <li>児童の画面 (書画カメラ)</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる</p>	<p>5</p>	<p>4. 本時の活動を確認し、次時以降の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りを書く。</li> <li>・パーツが完成したら、組み立てて仕上げることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数人のデータを紹介し、進捗状況を確認する。</li> <li>○次時以降の見通しを持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>

② 評価(主体的に学習に取り組む態度)

- A 算数「かたちあそび」の既習事項を生かし、活動の意図を理解して「テガニキーホルダー」を分解及びパーツを分類したりすることができた。
- B 算数「かたちあそび」の既習事項を生かし、友だちや指導者の助言を受けながら「テガニキーホルダー」を分解及びパーツを分類したりすることができた。
- C 本活動の中で算数「かたちあそび」の既習事項を生かすことができなかった。

③ 板書計画

<p>スクリーン</p> <p>1. 『作ってみよう!』の画面</p> <p>3. 『作ってみよう!』の画面</p> <p>3~4. 児童の画面(書画カメラ使用)</p>	<p>㊦ 「テガニキーホルダー」のパーツをつくろう。</p> <p>「テガニキーホルダー」のパーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・からだ …はこのかたち(はこ) 1こ</li> <li>・あし …つつのかたち(まる) 10本</li> <li>・目 …つつのかたち(まる) ひらべったくする 2こ</li> <li>・はさみ …ピザののこり(おうぎがた)</li> </ul> <p>大1こ 小1こ</p>
---	--

## 授業実践

### <写真>

活動計画の確認



粘土で作った模型



他者参照をしながら作業



プリントアウトした部品



「作ってみよう!」で部品を設計



組み立ての様子



完成した作品



### <めざす児童像・研究仮説>

- 単元の活動計画を児童と一緒に立て教室に掲示することで、活動の流れを確認しながら学習を進めることができた。
- 「テガニキーホルダー」作りの選択場面は、ゴールのイメージが明確で児童がスムーズに選択することができた。
- 相手を意識した活動は、児童の意欲につながりやすかった。
- 一方、「手賀東小学校の紹介絵本」作りは、内容のゴールや活動のイメージを持つことが難しく、テーマやインタビューの質問を決める際に支援が必要となった児童が多かった。絵本の完成図を提示したり、児童個人の理解度やテーマに沿って計画を修正したりしながら活動を進めた。

### <情報活用能力>

- 算数の既習事項を生かして、「テガニキーホルダー」のパーツを考えることができた。
- 「作ってみよう!」のログインの仕方、基本的な操作は児童全員が習得し、活動の中で活用することができた。
- 1年生「手賀東小学校紹介絵本」作りのように自分でテーマを選び情報収集、まとめをする活動は初めてだったので、情報活用の過程をより丁寧に指導していく必要があると感じた。

### <講師の指導>

- ・教科横断的な視点、STEAM教育の視点を取り入れた単元計画になっていた。
- ・三次元(縦、横、高さ)や立体図形の内容は難しいが、低学年から触れ合う体験を重ねていくとよい。

### <そのほか>

- ・iPadで「作ってみよう!」を使用すると、児童が意図しない場面で再読み込みがかかってしまい、混乱することがあった。画面タップでは、移動が思い通りにいかない、図形の名称が教科書と一致しないことは、今後検討していく必要がある。

なまえ

月 日 ( )

(例) しん1年生に じぶんたちが できることを かんがえよう。

4月から12月までで、できようになつたことを かこう

- てつぼう
- けいさん
- けいさん
- けんばんハーモニカ
- なわとび
- かん字、カタカナ、ひらがな
- 竹うま
- 「作ってみよう！」
- ーりん車
- iPad
- こうさくができるようになった。
- 文がよめるようになった
- 文がかけるようになった

☆つぎの じかんから とりくむこと

入学せつめいかいで…テガニをプレゼント

ようちえん年ちょうさんに…本をプレゼント (え、しゃしん、文)

なまえ

月 日 ( )

(例) テガニキーホルダーを つくるけいかくを たてよう。

かてい	ほうほう
したがき	えでかく、ねんどでつくる、はこでつくる
せっけい	「つくってみよう!」でパーツをつくる
いんさつ	3Dプリンターでいんさつ(先生)
くみたて	グルーガンでくっつける
しあげ	目をかく メッセージをかく いろをぬる

☆つぎのじかんは…

したがきをする。

(ねんど・はこ) でつくる。

なまえ

月 日 ( )

(例) テガニキーホルダーの パーツを つくろう

パーツ	かたち	こすう
からだ	はこのかたち	1こ
目	まるのぼうのひらべったいやつ	2こ
はさみ	ピザののこり	2こ
あし	まるのぼう	8本
手	まるのぼう	2本
ひまわり	サンプルデータ	1こ

☆つぎのじかんは…

せっけいを おわらせる。

いんさつしたものを くっつける。

なまえ

月 日 ( )

テガニキーホルダーづくりを ふりかえろう。

さくひんの しゃしん

(例) テガニをつくりました。

ぶひんを つけるのが むずかしかったです。

しん1ねんせいに よろこんでほしいです。